

# 医療だより

## 市民医療センター

戸田市美女木4-20-1  
☎ 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川口～北戸田線  
●「市民医療センター」下車  
tocoバス(美笹循環)  
●「市民医療センター」下車



### 診療科目

●内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科  
診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

### 受付時間

●月曜日 午前8時30分～11時30分、午後2時～5時  
●火～金曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～5時  
●土曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～4時  
●予防接種：月・水・金曜日(要予約)

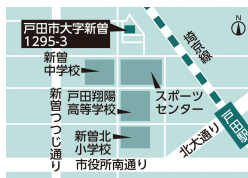
## 休日・平日夜間の診療機関(急患) かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受付を済ませてください

**【内科・小児科】** (詳しくは蕨田市医師会ホームページをご覧ください)

### 戸田市休日・平日夜間急患診療所

●蕨田市医師会館となり ☎445-1130  
休日診療日 3/1・15・22  
休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時  
平日夜間診療月 3月(奇数月)  
毎週月～金曜日の平日夜間診療時間  
午後7時30分～10時30分 ※休日を除く



### 蕨市休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ☎431-2611  
休日診療日 3/8・20・29  
休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時  
平日夜間診療月 4月(偶数月)  
毎週月～金曜日の平日夜間診療時間  
午後7時30分～10時30分 ※休日を除く



**【小児科】** ※平日夜間診療時間のあと

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分～翌朝7時  
※受診される場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください  
月・水・木・金曜日 ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 ☎442-1111)  
火曜日 ●済生会川口総合病院(川口市西川口5-11-5 ☎253-1551)

**【産婦人科】** 診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話でお問い合わせください。受診は急患のみです

3月1日(日)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
3月8日(日)	白石はなもレディースクリニック ☎434-4809 戸田市新曽2200-2 ロイヤルメドウ北戸田2F
3月15日(日)	飯田クリニック ☎441-2730 蕨市南町2-14-8
3月20日(祝・金)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
3月22日(日)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
3月29日(日)	岩沢レディースクリニック ☎445-4103 戸田市本町4-17-28 WINビル301号

## 救急電話相談

#7119 ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS、都県境の地域でご利用の場合)

24時間相談対応 年中無休

年齢を問わず、急な病気(発熱、下痢、嘔吐など)やけがの対処方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。緊急に医療機関の受診が必要なときは、受診可能な医療機関(歯科を除く)を案内します。

※AI救急相談も受け付けています。電話が苦手な方でも気軽に相談ができます。県医療整備課のホームページか右のQRコードから、スマートフォンやパソコンでご利用ください。この電話相談およびAI救急相談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません

問い合わせ 県医療整備課 ☎048-830-3559



## 県精神科救急情報センター

☎048-723-8699 (ハローキューキュー)

夜間・休日に、精神疾患を有する方や、その家族などからの緊急な精神科医療相談を、電話で受け付けています。相談内容から適切な助言を行い、必要に応じて医療機関の紹介を行います(県在住者が対象)。

受付時間 月～金曜日：午後5時～翌朝8時30分、土・日曜日、祝日：午前8時30分～翌朝8時30分  
問い合わせ 県立精神保健福祉センター ☎048-723-3333

## スマホ社会と子どもの未来

スマートフォンやタブレットは、本来の通信手段としての用途以外の機能も備えた、現代人の必需品となっています。通勤電車の中では、多くの乗客がスマホの画面を見ています。

しかし、小児科医からはスマホの影響として、子どもたちの視力低下やブルーライトによる睡眠への影響、生活リズムの乱れ、ゲーム依存症(WHOでゲーム障害として認定)、大脳発達への影響、学力低下、集中力の低下など、さまざまな懸念の声が上がっています。

外遊びをすることで体を動かせば、夜はぐっすり眠れます。また、友だちとの行動はコミュニケーション能力を高め、社会性も培われます。家庭内では、親子で一緒に絵本を読みながら会話することや、子ども自身が読書をすることで、言葉を覚えるだけでなく、想像力を鍛え、将来に役立つ知識や知恵を豊富に得ることができます。

スマホ社会の中で子どもたちが健やかに育つように、周囲の大人が考えてあげましょう。

問い合わせ 市民医療センター ☎421-4114